

報道機関 各位

「第30回環境フェスティバル」を開催しました

6月6日(土)、7日(日)の2日間、市民プラザ・屋外ひろば・落合川いこいの水辺を会場として、「環境フェスティバル」が開催されました。

(主催:東久留米市環境フェスティバル実行委員会と東久留米市)。

環境フェスティバルは、こどもから大人まで、様々な体験を通じて「環境について学び、活動につなげる」ことを目標として、環境月間である6月に開催しているイベントです。



【当日の様子】

第30回を記念するイベントや市内在住の落語家 立川志獅丸師匠による環境落語、るるめちゃんのグリーティング、紙芝居でわかる!環境基本計画、環境活動に取り組むこどもたちによる発表など、イベントが盛りだくさんでした。

市民プラザホールにて、市内出身アーティスト 大小島真木さんのイラストを使用した30回記念のシンボルフラッグを展示し、数多くの方々にご覧いただきました。

今回初めて行った「紙芝居でわかる!環境基本計画」では、東久留米の自然環境について、紙芝居クリエイターの紙芝居ラボ夜くまグッサンさんが、こどもたちにも分かりやすい紙芝居で伝えていただき、大人からこどもまで一緒に楽しみながら学べる時間でした。

「環境活動に取り組むこどもたち」では、市内の小中高生による展示、海城中学1年生の帯包さんと国分寺高校生物部の皆さんに発表を行っていただきました。

帯包さんは「東久留米から世界を守ろう~人の意識や行動を変える方法」、国分



立川志獅丸師匠

寺高校生物部の皆さんは「落合川におけるマイクロプラスチックの測定」というテーマで、環境のために自分たちは何ができるかなと改めて考えさせられる発表でした。

「フードドライブ」「廃食油の回収」「ペットボトルのキャップ回収」「せともののリサイクル」「まだ使えるおもちゃや文房具の無料回収」などのリユース・リサイクルへの取り組みにも多くの方にご参加いただきました。

屋外ひろばでの「トムソーヤの川下り」、「ノコギリ体験」や「木の実づくり人形」、「廃材を使った工作」「ヒンメリづくり」などの体験型イベントブースにも多くの方が参加され、ものづくりに熱中しているおさんの様子も見られました。

第30回環境フェスティバルは、2日間で延べ2200人ほどの来場者を迎え、大盛況で終えることができました。



トムソーヤの川下りの様子

【実行委員長のコメント】

今回実行委員長を務めた中山 由佳さんのコメント

「『このまち(街)で、水と生きる』今まで守り続けて下さった方々、これからを担う若い世代の方々と共に、第30回環境フェスティバルも無事開催することができました。ご来場の多くの皆さまに、こんなにたくさんの環境保全団体があることや、子ども達がこのような研究や活動をしていることなどをお伝えすることができて、驚きと喜びの声をいただき、私自身、とても嬉しく感じました。

事務局をはじめ、実行委員の皆さま、ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。」

■問い合わせ先

環境政策課長 早瀬 電話042・470・7753